

# 汚染水等構内溜まり水の状況（2018.10.25時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]
1-1	2号機大物搬入口屋上	・2号機大物搬入口屋上	建屋エリアに存在する 建屋	降雨量により変動	【2階】 Cs134: <1.0E1 Cs137: 2.1E1 全β: 2.6E1 H3: 1.0E2 (2015.11.2) 【1階】 Cs134: 1.1E1 Cs137: 4.0E1 全β: 4.1E1 H3: 1.1E2 (2015.11.2)
1-2	2号機R/B	2号機R/B	建屋エリアに存在する 建屋	降雨量により変動	[上屋] Cs134: 200~340 Cs137: 650~1100 全β: 920~1900 Sr90: 10~20 H3: ND(<100) (2015.1.16)
2	5,6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5,6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約10,000 (2015.4.16時点)	Cs134: 1.1E1 Cs137: 7.0E1 Co60: — (2017.5.24)
3	5,6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5,6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約5000 (2015.4.16時点)	Cs134: 7.7E0 Cs137: 4.3E1 Co60: — (2016.10.3)
4-1	吸着塔一時保管施設(HIC)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	0 (ボックスカルパート内の水は拭き取り実施済み)	【No.172(AJ5)蓋外周部(他調査中)】 Cs134: 1.9E+3 Cs137: 6.8E+3 全β: 3.0E+6 (2015.4.2)
4-2	吸着塔一時保管施設	水処理二次廃棄物(SARRY、KURION、ALPS処理カラム、モバイル式処理装置)	吸着塔一時保管施設(第一施設、第四施設)	1程度(1基あたり)	Cs137: 2.0E3~1.6E7 Sr90: 5.3E3~4.3E7 (2017.2~2017.3)
5	No.1ろ過水タンク(RO濃縮塩水/溶接タンク)	・No.1ろ過水タンク(RO濃縮塩水/溶接タンク)	屋外(タンクエリア)	約1(一部1cm残水あり)	【No.1ろ過水タンク】 Cs-134: 2.3E+03 Cs-137: 4.3E+03 全β: 6.6E+07 (2013.11.19)
6	4000tノッチタンク(角型タンク)	・4000tノッチタンク	タンクエリア	0 (2018.5.7時点)	【3000tノッチタンク】 水抜き済 【1000tノッチタンク】 水抜き済
7	濃縮水タンク(蒸発濃縮装置濃廃水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク(スラリー/濃縮水)	タンクエリア(Cエリア)	約85 (2015.6.9時点)	【蒸発濃縮装置濃廃水】 Cs134: 1.7E4 Cs137: 2.5E4 全β: 4.7E8 (2011.12.20)
8	淡水貯留タンク(G1エリア地下タンク)	・淡水貯留タンク(横置きタンク)	タンクエリア	— (2017.8時点)	—

# 汚染水等構内溜まり水の状況（2018.10.25時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]
9	5、6号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット	・5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット ・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット ・5号機逆洗弁ピット ・6号機逆洗弁ピット	5、6号機スクリーン近傍	(5号機吐出弁ピット) 約550 (6号機吐出弁ピット) 約850	【5号機吐出弁ピット】 (2016.10.5) Cs134 : ND Cs137 : 3.4E0  【6号機吐出弁ピット】 (2016.10.5) Cs134 : ND Cs137 : 3.7E0  【5号逆洗弁ピット】 (2016.10.3) Cs134 : 3.0E0 Cs137 : 1.9E1  【6号逆洗弁ピット】 (2016.10.3) Cs134 : 1.5E0 Cs137 : 1.1E1
10	1～4号機T/B屋根	・1号機T/B ・2号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上屋】 Cs134:1.2E2 Cs137:9.7E2 全β : 1.1E3 (2017.6.19) 【2号機T/B上屋】 Cs134:7.9E1 Cs137:5.4E2 全β : 5.0E2 (2017.6.19)
11	1号CSTタンク(溶接タンク)	・1号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約740 (2016.10.26)	Cs134:2.9E+4 Cs137:1.9E+5 全β : 2.2E+5 (2016.11.7)
12	2号CSTタンク(溶接タンク)	・2号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約2260 (2015.6.17現在)	Cs134:1.7E+4 Cs137:5.7E+4 全β : 4.2E+6 (2015.3.23)
13	3号CSTタンク(溶接タンク)	・3号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約2120 (2015.6.17現在)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 (2018.8.24) H3:1.8E6 Sr90:ND 【CST貯留水】 (2015.7.16) Cs134:2.1E+3 Cs137:8.0E+3
14	4号CSTタンク(溶接タンク)	4号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約2000	【プラント復水】
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	タンクエリア	—※	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β : 1.1E6 (2017.9.13)  (参考:漏えい検知孔水) 全β : 4.4E4 <b>3.8E4</b> (2018.9.19) <b>(2018.10.17)</b> H3: ND <b>ND</b> (2018.9.5) <b>(2018.10.3)</b>
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	タンクエリア	—※	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β : 2.7E6 (2018.1.26)  (参考:漏えい検知孔水) 全β : 5.3E3 <b>3.6E3</b> (2018.9.19) <b>(2018.10.17)</b> H3: ND <b>ND</b> (2018.9.5) <b>(2018.10.3)</b>
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	タンクエリア	—※	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β : 3.9E6 (2017.9.13)  (参考:漏えい検知孔水) 全β : 1.5E4 <b>1.1E4</b> (2018.9.20) <b>(2018.10.18)</b> H3: ND <b>ND</b> (2018.9.6) <b>(2018.10.4)</b>

※:水位計の計測限界水深未満(一部残水あり)(2018.9.26時点)

# 汚染水等構内溜まり水の状況（2018.10.25時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	タンクエリア	—※	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β：7.9E4 (2017.9.12)
19	地下貯水槽	地下貯水槽No. 5	タンクエリア	撤去完了	【使用実績なし(水張試験のみ)】 —
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	タンクエリア	—※	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β：9.0E6 (2017.9.12)  (参考：漏えい検知孔水) 全β：2.0E1 <b>4.5E1</b> (2018.9.20) <b>(2018.10.18)</b> H3：ND <b>ND</b> (2018.9.6) <b>(2018.10.4)</b>
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	タンクエリア	—※	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β：1.7E2 (2017.9.12)
22	1-4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等	1~4号機周辺	約4~510 (2017.10~2018.2)	Cs134:6.1E0~6.7E1 Cs137:7.1E1~5.7E2 全β：8.0E1~8.2E2 H3：ND~3.3E2 (2017.10~2018.2)
23	2~4号機DG連絡ダクト	・2~4号機DG連絡ダクト	2~4号機山側	約1600 (2017.10)	Cs134:8.6E0 Cs137:7.5E1 全β：1.2E2 H3：ND (2017.10)
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約3000	Cs134:3.6E0 Cs137:3.6E1 全β：6.0E1 (2018.7.27)
24-2	2号機海水配管トレンチ	・2号機海水配管トレンチ	2号機タービン建屋海側	0 (2015.6.30時点)	—
25-1	3号機海水配管トレンチ	・3号機海水配管トレンチ	3号機タービン建屋海側	0 <sup>(注)</sup> (2015.7.30時点) (注)立坑D上部を除く	—  【立坑D】 Cs134:5.6E5 Cs137:1.9E6 全β：4.2E6 H3：1.5E5 (2015.2.27)
25-2	4号機海水配管トレンチ	・4号機海水配管トレンチ	4号機タービン建屋海側	0 <sup>(注)</sup> (2015.12) (注)建屋接続部及び建屋接続部近傍の開口部を除く	—
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約860 (2017.10)	Cs134:4.8E1 Cs137:4.0E2 全β：4.4E2 H3：ND (2017.10)
27	廃棄物処理建屋間連絡ダクト	・廃棄物処理建屋間連絡ダクト	プロセス主建屋北側	充填完了	—
28	1-4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防災用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1-4号機周辺	約7~820 (2015.10~2016.1)	Cs134:ND~2.2E2 Cs137:ND~9.2E2 全β：5.1E1~1.4E3 H3:ND~3.1E2 (2015.10~2016.1)

※:水位計の計測限界水深未満(一部残水あり)(2018.9.26時点)

# 汚染水等構内溜まり水の状況 (2018.10.25時点)

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]
29	1～4号機サブドレンピット No.15,16(未復旧ピット)	・サブドレンピットNo.15,16	1～4号機周辺 「未復旧」	約20m <sup>3</sup>	No.16 Cs134:1.0E5 Cs137:8.1E5 全β: 8.3E5 H-3: 2.7E3 (2017.6.22)
30	その他1～4号機サブドレン(ディー プウェル含む)(未復旧ピット)	・1号機～4号機サブドレン	1～4号機周辺 「未復旧」	約15/ピット	No.47,48 Cs134:ND～3.9E1 Cs137:4.8E1～9.6E1 全β:7.9E1～2.8E2 H-3:ND (2014.11.10)
31-1	1～4号機逆洗弁ピット	・1号機逆洗弁ピット ・2号機逆洗弁ピット ・3号機逆洗弁ピット ・4号機逆洗弁ピット	1～4号タービン建屋海 側	(1号機逆洗弁ピット) 約300 (2016.7.11)  (2号機逆洗弁ピット) 約900 (2016.7.11)  (3号機逆洗弁ピット) 約700 (2016.7.11)  (4号機逆洗弁ピット) 約1300 (2016.7.11)	(1号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:4.4E3 Cs137:2.5E4 全β:2.9E4 H3:2.6E2 (2号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:1.4E2 Cs137:8.0E2 全β:9.3E2 H3:ND (3号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:2.4E3 Cs137:1.2E4 全β:1.5E4 H3:5.3E2 (4号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:2.3E2 Cs137:1.2E3 全β:1.3E3 H3:ND
31-2	1-4号機吐出弁ピット	・1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出 弁ピット ・4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出 弁ピット	1～4号タービン建屋海 側	【1号機吐出弁ピット】 0 (2015.11)  【4号機吐出弁ピット】 0 (2015.10)	【1号機吐出弁ピット】 —  【4号機吐出弁ピット】 —
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1～4号タービン建屋海 側	約3800	【放水路上流側立坑】 (2018.9.21) <b>(2018.10.19)</b> Cs134:4.2E1 <b>1.5E2</b> Cs137:5.1E2 <b>1.7E3</b> 全β:6.7E2 <b>2.2E3</b> H3:1.8E2 <b>1.9E2</b>
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2-4号機タービン建屋 海側	約3000	【放水路上流側立坑】 (2018.9.21) <b>(2018.10.19)</b> Cs134:1.2E2 <b>1.9E2</b> Cs137:1.3E3 <b>2.2E3</b> 全β:1.9E3 <b>3.1E3</b> H3:1.9E2 <b>1.9E2</b>
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3-4号機タービン建屋 海側	約600	Cs134:2.6E2 <b>6.7E1</b> Cs137:1.1E3 <b>7.1E2</b> 全β:1.7E3 <b>9.1E2</b> H3:9.0E2 <b>1.4E2</b> (2015.6.10) <b>(2018.10.10)</b>
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4500	Cs134:7.2 Cs137:23 I-131:<4.3 Co-60:<4.2 全γ放射能:3.1E+1 (2014.5.23)
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1000	(2018.7.25) <b>(2018.9.19)</b> Cs134:ND <b>ND</b> Cs137:ND <b>ND</b> Co60:3.6E1 <b>6.5E2</b>
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1250	(2018.8.16) <b>(2018.10.11)</b> Cs134:ND <b>ND</b> Cs137:ND <b>ND</b> Co60:1.1E1 <b>3.2E1</b>
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5・6号機スチームドレン配管トレン チ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト 等	5～6号機周辺	約1～1900 (2015.10～2016.1)	Cs134:ND～2.2E2 Cs137:ND～9.9E2 (2015.10～2016.1)

# 汚染水等構内溜まり水の状況 (2018.10.25時点)

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m <sup>3</sup> )	放射性物質濃度[Bq/L]
39	5, 6号機サブドレン	・5,6号機サブドレンピット	5～6号機周辺 ※「復旧対象」	約15/ピット	Cs134: ND～0.34 Cs134: ND～0.95 全β: ND～2.6 H-3: ND～25 (採水期間: 2014.8～2014.11)
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ピット	Cs134: 1.0E+1 Cs137: 1.4E+1 Co-60: <6.0E-01 全γ放射能: 2.4E+1 (2012.1.18)
41	SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	・SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	SPT建屋	約2800 (2015.3.25時点)	Cs134: 8.0E+4 Cs137: 1.6E+5 Co60: 6.5E+2 (2013.8.27)
42	集中ラド周りサブドレン	・集中ラド周りサブドレン	主プロセス建屋等各建屋周辺	約15/ピット	Cs134: ND Cs137: ND (2017.7.13)
43	メガフロート	・メガフロート	港湾内	約9000 (2017.3)	No.5VOID Cs134: ND Cs137: 2.7 Sr90: ND H3: ND (2017.2.16)
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(建屋エリア)	約850	Cs134: 2.1 Cs137: 7.2 全β: 12.2 H-3: ND (2015.5.29)
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5～6号機	約6000 (2015.6時点)	【5号機】 Cs134: ND Cs137: ND H3: ND 全β: ND (2017.5.22) 【6号機】 Cs134: 1.3E0 Cs137: 6.1E0 H3: 3.5E2 全β: 1.5E1 (2017.5.23)
46	排気筒ドレンサンピット	・1/2号排気筒ドレンサンピット ・3/4号排気筒ドレンサンピット ・5/6号排気筒ドレンサンピット ・集中RW排気筒ドレンサンピット	1～4号機周辺 5/6号機周辺	1/2号サンピット 約0.3※  3/4号サンピット 約2  5/6号サンピット 約5  集中Rwサンピット 約20  ※適宜溜まり水の移送を実施	【1/2号サンピット】 (2018.6.12) <b>(2018.9.12)</b> 全β: 1.7E7 <b>4.0E7</b> Cs134: 1.4E6 <b>3.1E6</b> Cs137: 1.5E7 <b>3.6E7</b> 【3/4号サンピット】 (2016.3.17) 全β: 1.3E3 Cs134: 2.4E2 Cs137: 1.1E3 【5/6号サンピット】 (2015.9.16) 全β: 7.6E1 Cs134: 1.2E1 Cs137: 4.7E1 【集中Rwサンピット】 (2015.12.17) 全β: 7.6E2 Cs134: 1.5E2 Cs137: 6.6E2
47	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6～8号棟)	約200	Cs-134: ND Cs-137: 5.3E+1 全β: 4.8E+1 (2017.11.10)